

令和3年8月19日

茅ヶ崎市長 佐藤 光 様

茅ヶ崎市地域コミュニティ審議会
会長 名和田 是彦



認定コミュニティによる公益の増進のための活動に関する調査審議について（答申）

令和3年6月15日付け3茅市自第79号で諮問のあったことについて、次のとおり答申します。

1 諒問の内容

認定コミュニティの認定基準への適合に関する事項及び認定コミュニティの活動と特定事業に関する事項について

2 審議の結果

別紙のとおり



[別紙] 認定コミュニティによる公益の増進のための活動に関する審議の結果について

1 茅ヶ崎地区まちぢから協議会

(1) 認定基準への適合に関する事項

認定基準に適合していると考えます。

(2) 認定コミュニティの活動及び特定事業に関する事項

茅ヶ崎駅に接し、マンション・店舗等も含め多くの市民が暮らし、家族形態など一人ひとりの暮らし方が多様性を増しているなか、防災・安全・環境への意識が高い地域であると感じています。

商店街が多く立ち並ぶ地域で、運営委員会に商店会からも役員に加わっているのも特色だと思います。コロナ禍での活動も、役員が中心となり工夫して取り組んでいただいていたと感じました。

今後を考えた時に、オンラインでのコミュニケーションを可能とするツール・サービスに予算を割くこともご検討ください。

地域のつながりを活かしてコロナ禍の終わった時期を見据えて連携を取り、より良い活動やイベント等につなげていただくことを期待します。

2 茅ヶ崎南地区まちぢから協議会

(1) 認定基準への適合に関する事項

認定基準に適合していると考えます。

(2) 認定コミュニティの活動及び特定事業に関する事項

コロナ禍が続く中で、可能な限り会議を継続されている様子が見て取れます。

地域集会施設の指定管理者を茅ヶ崎南地区まちぢから協議会が担う方針のもと、新たな組織体系を整備されました。今後の施設運営と地域づくりの活動に期待します。

地域の様々な課題に対しては、6部会の体制で取り組んでおられます。令和2年度は地域活性化部会が「新春凧揚げ大会」を動画配信で行うという先進的な取り組みをなさっており、素晴らしいと思います。今回の取り組みから茅ヶ崎南地区が地域活動におけるオンライン化のリーダーとなり、積極的に推進していただきたいと思います。

また、世界的な情勢を取り入れて、SDGsの研修会を企画し、持続可能な地域活動の取り組みを意識するほか、児童健康部会では、登校時だけでなく、下校時も旗振りを実施する「みんなでみまもり隊」を始めることができました。活動が継続することを期待します。

3 海岸地区まちぢから協議会

(1) 認定基準への適合に関する事項

認定基準に適合していると考えます。

(2) 認定コミュニティの活動及び特定事業に関する事項

コロナ禍においても、精力的に活動されていると思います。

中でも、防災訓練につきましては、災害はコロナ禍でも発生することを鑑み、参加人数を最小限にしつつも、HUGを実施しました。今後は、レイアウト案を地域に示し、さらなるニーズを拾いながら、自分たちに居心地の良い避難所について検討するなど、他地区をリードしていただきたいと思います。

また、広報掲示板につきましては、市の財政健全化による補助金削減の影響を受ける状況下において、宝くじ助成制度を活用し、設置していただきました。自主財源を活用する取り組みは、他地区的モデルとなる素晴らしい活動であると思います。加えて、設置に伴う地域への働きかけは、協議会の存在感や、力を高めるものなので非常に良い事業に取り組まれたと思います。

この他、地域集会施設の指定管理者を海岸地区まちから協議会で担う方針のもと、ワーキンググループを設置し、組織体制の検討、規約等の整備をされました。今後の連携に期待します。

4 南湖地区まちから協議会

(1) 認定基準への適合に関する事項

認定基準に適合していると考えます。

(2) 認定コミュニティの活動及び特定事業に関する事項

地区内に古くから寺社が点在し、浜降祭は地域住民がこぞって参加するなど歴史とともに現在も各団体、地域住民のつながりが残る地域と感じています。特に納涼盆踊りは地域課題の把握や人材発掘につながる一面があったと思います。コロナ禍によって納涼盆踊りが開催されないことでそういった取り組みが停滞しないよう引き続き地域課題の整理を進めていただきたいと思います。ホームページを活用して、継続的に広報することや、部会の立ち上げについても検討し、役割分担することも有効だと思います。

また、情報伝達経路の多様化として、新たにトランシーバーを購入したほか、令和3年度事業としてスマホの講座を検討されていることを高く評価します。トランシーバーについては、子どもも楽ししながら使い方を学ぶことができることから、備品として保管するだけでなく、積極的に活用されることを期待します。

世代間交流や伝統文化の継承、地域をあげての子どもたちの育成は素晴らしい、継続していただきたいと思います。

5 湘南地区まちから協議会

(1) 認定基準への適合に関する事項

認定基準に適合していると考えます。

(2) 認定コミュニティの活動及び特定事業に関する事項

地区住民が主体となって活動を推進していることや地域づくりの姿勢については、他の地区的モデルになる素晴らしい活動を行っていると評価します。

コロナ禍においても、全ての事業を単に中止するのではなく、「どうやったら実施できるか」を常に考え、できる工夫を凝らしながら積極的に進め、精力的ですばらしいと評価します。

住民ニーズを深堀りして取り上げ、おでかけワゴン事業・中学生の居場所づくり事業・洪水対策マニュアル冊子作成の他、広報活動、柳島スポーツ公園競技場の清掃作業など多岐にわたり魅力ある活動を行っており、地域住民の生活に大きく貢献されています。

湘南地区まちぢから協議会が中心となって、NPO 法人や市社会福祉協議会、地区内に所在する企業・事業者の協力を得て、それぞれの団体の特徴を活かしながら連携している活動については、今後のさらなる発展に期待します。

市の補助金に頼らずに、事業者からの協力金を活用するなど、自主財源を獲得する仕組みを設計しており、今後の展開が楽しみです。

従来の地域活動からすると、居場所づくりや防災など専門性の高い活動が増えていますので、研修に意を用いられると良いと思います。

令和3年度から地域集会施設の指定管理者を湘南地区まちぢから協議会で担うことによって、地域交流の拠点としてさらに発展することを期待します。

6 鶴嶺東地区まちぢから協議会

(1) 認定基準への適合に関する事項

認定基準に適合していると考えます。

(2) 認定コミュニティの活動及び特定事業に関する事項

コロナ禍でもとても丁寧に部会で情報交換をされているという印象を持ちました。活動全体としても、とても手堅く着実に、コロナ禍の中でもできる実績というのをつくっていると感じました。また地域集会施設が鶴嶺東地区の拠点としてうまく活用されていると思います。

コロナ禍の影響で会議の開催や実施が出来ない中でも工夫して情報発信を続けてくださったことは素晴らしいと思います。広報活動の「スクラム」はとても見やすくまとめられていました。広報紙・回覧板・ホームページは地区住民が身近な地域の情報を得ることができる大切な情報を得る手段です。今後も地域住民が必要とする情報を発信していく広報活動を期待します。

学校が最も多い地区ということもあり、子どもの見守りはとても力を入れられているように見受けられ、安全への意識の高さを感じます。子どもの見守り事業は、まさに地域で支える大切な役割と考えます。交通の見守りだけではなく、居場所作りなども企画いただき、さらに活動の幅が広がることを期待します。

7 鶴嶺西地区まちぢから協議会

(1) 認定基準への適合に関する事項

認定基準に適合していると考えます。

(2) 認定コミュニティの活動及び特定事業に関する事項

コロナ禍において、市民集会や防災訓練が中止となりましたが、地域での協議を重ね、地域集会施設の指定管理者を鶴嶺西地区まちぢから協議会が担うこととし、新たなスタートをなさったことを評価します。

特に、鶴嶺西コミュニティセンター内にまちぢから協議会を構成する各団体向

けの連絡ポストを設置し、構成員のコミセンを通じた交流機会の創出や拠点の活用による地域づくりを目指す取り組みは、他の地区のモデルとなる取り組みです。

今後、地域住民が困っていることを全住民対象のアンケートを行うことで把握なさりたいというお話も伺っておりますが、その際はぜひ、まちぢからの困っていることも発信して両方のマッチングが進めようになさると良いと思います。今年度、運営委員の多くが入れ替わっている様なので、これから何をやるべきかということは模索されているものだと思います。予算編成に縛られずどんどん積極的に取り組んでいただきたいと思います。

今までにない新しい視点でまちぢからの活動が更に活発になることを期待します。

8 松林地区まちぢから協議会

(1) 認定基準への適合に関する事項

認定基準に適合していると考えます。

(2) 認定コミュニティの活動及び特定事業に関する事項

コロナ禍で制限された中でも、色々と工夫をし、努力されている姿勢がとても意欲的で意識の高さを感じます。特に松林地区の活動拠点となり、また地域住民の憩いの場ともなる地域集会施設の整備に向けての「コミセン研究会」は、計画的に活動ができていたと感じました。松林コミセン整備の検討も将来の活動につながるものです。地域の力を発揮できる環境づくりに期待します。

これまでも地域のつながりを大切に安全・安心に係る取り組みとともに広報活動なども地域が連携し積極的な活動がされてきたと感じています。「ふくろう塾」や「おむすび松林」の協力体制は他に大いに参考となるものであり、活動員も増えているとのことでとても素晴らしいと思いました。行きたい人が行ける場所があるとか、誰かに話したい時に話せる場所があるということが大事だと思います。このような企画が他地区にも広がっていくことを期待します。

また、コロナ禍の影響で今後のオンライン教育の可能性が高まってきていると思います。そうすると地域で学習を支える人の必要性が一層高まることが予想されます。そのようなことも見据えて活動していただけすると今後の茅ヶ崎の教育体制の可能性を考える上で大変参考になるのではないかと期待します。

会議の開催についてもリアル参加とリモート参加を組み合わせて会議を行ったことは、他地区と比較してもとても前向きで先進的な取組だと感じました。

今後、コロナ禍でも開催できる方法を率先して発信されることを期待します。

9 小和田地区まちぢから協議会

(1) 認定基準への適合に関する事項

認定基準に適合していると考えます。

(2) 認定コミュニティの活動及び特定事業に関する事項

辻堂駅に接し、小和田コミュニティセンター、YU·ZU ルーム・小和田住宅外複合施設があり、それぞれを拠点とした活動が行われ、役員会・各部会などの会

議から、まちぢの活動が組織的にしっかりと行われていると感じます。

コロナ禍の中でも実施できることを検討され、防災ワークショップやまち歩きを工夫して行い、子供を中心とした取り組みだけでなく、認知症声がけミニ模擬訓練などお年寄りに寄り添った活動もされていて素晴らしいと思います。今後は、参加者の声などをまとめていただきて、それを地域で共有していくと更に良いものになると思います。

令和2年度発行のまちぢからニュース夏の臨時号では、地域の民生委員の顔写真が掲載されており、親しみやすくてとても素晴らしいと思います。更にその方を紹介する一言などを追加するとなお良いと思います。

今年度は広報紙の発行を予定されているので、ぜひ幅広い世代に読まれることを期待します。

また、ホームページについてはトップページにトピックスがあり、良く工夫されていると思います。今後はさらにグレードアップを図っていただくようお願いします。

10 松浪地区まちぢから協議会

(1) 認定基準への適合に関する事項

認定基準に適合していると考えます。

(2) 認定コミュニティの活動及び特定事業に関する事項

地域の各団体及びコミカフェの運営など松浪コミュニティセンターの活動はこれまで活発に行われてきました。運営委員会には、社会福祉協議会や青少年育成推進協議会、各学校 PTA、体育振興会の方々が参加されているので、福祉や子ども青少年、体育（健康）などの活動も広げていかれる良好な活動だと思います。今後の更なる活躍を期待します。

広報紙「まつなみだより」は写真も多く活用されており、内容も地区内の小学校や中学校の情報が掲載されるなど、幅広い年代に親しまれる記事で素晴らしいと思います。今後もユニークな取り組みを期待します。

ホームページの完成度は最も高く、必要なところをすぐ開くことができます。ホームページ上に地域コミュニティに関する貴重な資料が多くありますので、まちぢから協議会のコミュニティに関わる方が容易にアクセスできる様に工夫するとなお良いと思います。

引き続き地域住民から地域課題等に関する意見を募るという発想を維持しつつ、活動を続けていただきたいと思います。

11 浜須賀地区まちのちから協議会

(1) 認定基準への適合に関する事項

認定基準に適合していると考えます。

(2) 認定コミュニティの活動及び特定事業に関する事項

すこやか赤ちゃんサポート事業はコロナ禍の中でも、規模を縮小して実施したことですが、とてもきめ細かく丁寧なアプローチをしていると感じま

した。コロナ禍においても、1年間で合計93人参加したという実績を残されており、利用者を楽しませる工夫の成果が出たと思います。小さいお子さんを抱えると、地域の方との繋がりを持つことが難しいと思いますので、今後も様々な工夫をして続けていただきたいと思います。

広報紙「浜須賀のちから」は各団体の活動の紹介があり、幅広い情報を盛り込んで、興味を引くものになっていると思います。更に情報収集や調整をする部会があると、広報紙及びホームページやSNSなどへの取り組みも期待出来ると思います。情報発信は今後も魅力あるもの、発信の手法等の工夫を続けていただきたいと思います。

情報交換会で、防災と市民集会が2大目的との説明がありました。防災に関しては避難所でのトイレ作り等、現実的なところまで踏み込んでよく訓練・実習されていると感じました。今年度は、多くの住民が関わる防災活動も期待します。

浜須賀地区は、自治会加入率が高く、先進的な取り組みをしてきた地域のひとつであると思います。これからも新たな地域のニーズの把握に努め、地域の力を生かした活動につなげていただくことを期待します。

1.2 小出地区まちぢから協議会

(1) 認定基準への適合に関する事項

認定基準に適合していると考えます。

(2) 認定コミュニティの活動及び特定事業に関する事項

地区内のつながりが良く、コロナ禍において活動が制限される中、工夫して前向きに取り組まれていると思います。

街の特色を生かした「七福神めぐり」は、多くの方の参加もあり良かったと思います。今後は、参加者が地形や風景に対する気づきをマップにメモできるような仕組みを作り、地域の環境を見守る視点というのを入れていただきたいと思います。また、次世代に継承していくために、若い世代や子ども達も参加できるような形を検討していただきたいと思います。

「子どもの街宣言」からは、地域のあたたかさを感じられて素晴らしい事業だと思います。クリアファイルは、広報紙のファイルとして家庭で常時使用することで、潜在意識に入りとても効果的だと思われます。

スマホの講習会を実施していますが、同様に次世代の連絡・通信手段として住民相互に使いこなせるようになるのは良いと思いました。また、ホームページのグレードアップについても検討していただきますようお願いします。

地域に根ざした活動はまちぢから協議会に期待されることだと思います。コロナ禍の続く中で、変化をいとわず活動を推進していただきたいです。

1.3 その他

制度全般に関する助言・市の支援のあり方に関する事項

(1) 認定コミュニティであるまちぢから協議会が、コミュニティセンターの管理運営

を担うことは、地域コミュニティのさらなる発展に資することであり、各地区において着実に検討が行われていることを高く評価します。

- (2) 地域コミュニティにおける必要な地域活動を停滞させることがないよう新型コロナウイルスの感染拡大防止を図りながら、新たな生活様式による新たな協議会活動や会議等の開催方法の検討を期待します。
- (3) 特に、活動の電子化について検討していただき、より多くの住民が活動に関わることができる様になることを期待します。
- (4) 課題把握等に取組まれる際には、コミセン利用者の意見を聞くなど幅広い方の意見を聞くよう努めてください。